

なんこく 市議会だより

No. 82

平成29年(2017年)8月号

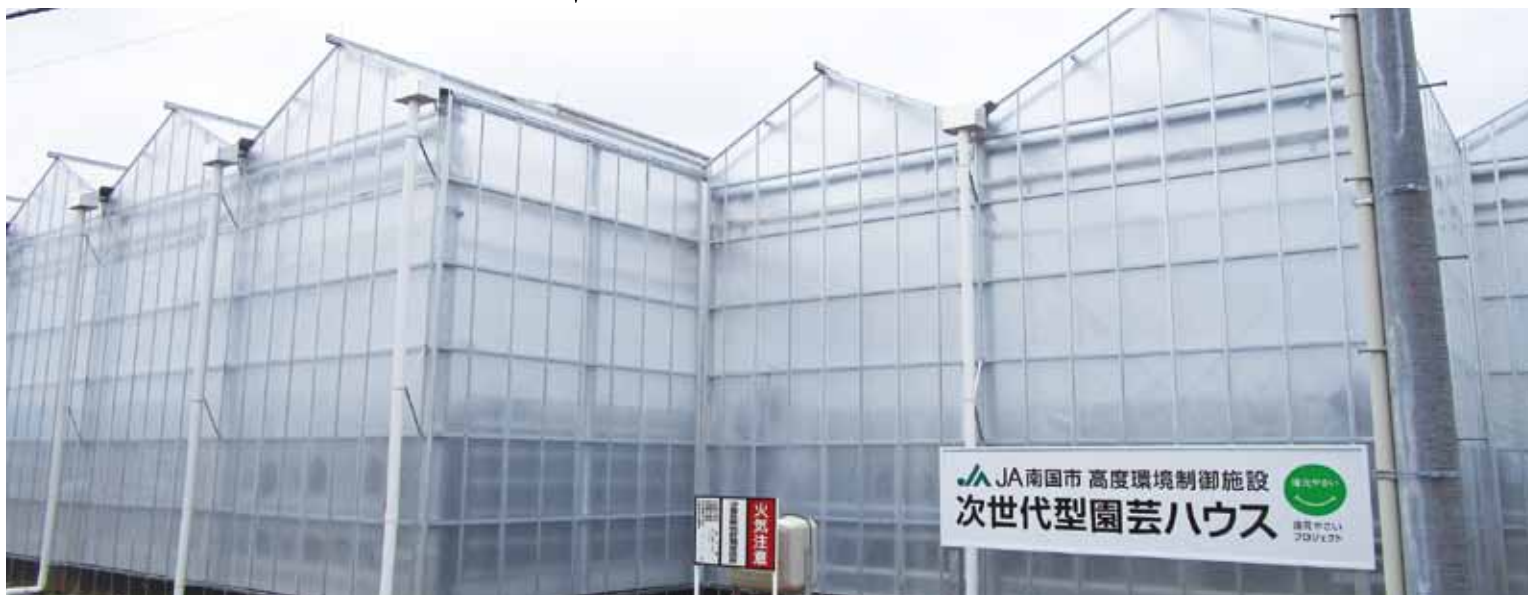
主 な 内 容

《6月定例市議会(第396回)》… P2
**(仮称)南国日章工業団地
にかかる市道用地取得
議案可決**

《4月臨時市議会(第395回)》… P3
《議員表彰》…………… P3
《市長辞意表明》…………… P3
《6月議会一般質問》…………… P4~11
《6月議会トピックス》…………… P12
《常任委員会視察レポート》… P13
《なんこく歳時季 巻3》…………… P16
・エンコウ祭り

◆ 表紙写真 ◆

J A 南国市が建設した5.5mもの軒高を持つハウスは、空調機器、高所作業が可能な台車など、設備が充実。(株)南国スタイルが、電解水素水を利用したピーマンやパプリカの栽培を行っています。
(下段写真:産業建設常任委員会の見学視察)



発行／南国市議会
E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会
南国市大堀甲2301 TEL 088-880-6570 FAX 088-864-3281

第396回

6月定例市議会

(仮称) 南国日章工業団地にかかる 市道用地取得議案を可決



第396回定例市議会は、6月9日から22日までの14日間の会期で開かれました。
市長提案の議案8件、報告5件と議員発議の意見書12件、陳情1件の審議が行われ、全議案を可決し、陳情を採択、意見書9件を可決しました。

6月定例議会初日、市長より、市独自のまちづくりのため、平成30年度より県から権限移譲される開発許可について、市街化調整区域の規制緩和に向け、住民の意見を踏まえて基本方針案をまとめ、9月の高知県開発審査会での承認後、南国市都市計画法施行条例案を12月議会へ上程したい旨の報告がありました。その後、主要政策についての報告に続き、今議会へ提出された議案の提案理由が説明されました。

13日の一般質問初日、質問前に教育長より、3月定例議会での一般質問に対する答弁について、答弁の訂正及び
おわびの報告があり(12ページに全文)、その後16日までの4日間は、14名の議員から一般質問として、教育福祉、公共交通、農業など市長への質問や提案が行われました。
19日は提出議案への質疑と人事案件1件の採決が行われ、人事案件は全会一致で同意となり、残余議案は所管の常任委員会へ付託されました。
20日に各常任委員会で付託議案等の審議を行い、22日の閉会日には、各常任委員長から審議結果の報告が行われ、質疑、討論の後採決に移り、全議案が原案のとおり可決となりました。

また、市長の退職申し出が追加議題とされ、全会一致で同意されました。(左ページ)
同日には、「南国市立総合文化施設(仮称)の早期整備について」の陳情1件を全会一致で採択したほか、議員から12件の意見書等が提出され、「農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書」「地方財政の充実・強化を求める意見書」など6件が全会一致で可決されました。また、賛成反対それぞれ3名の議員の討論がなされた「議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議」など3件が賛成多数で可決され、「いわゆる「共謀罪」を新設する改正組織犯罪処罰法の廃止を求める意見書」など3件を賛成少数で否決し、閉会しました。

◆ 永年勤続議員表彰 ◆

四国市議会議長会・全国市議会議長会定期総会において、本市から次の議員が表彰され、6月定例議会で伝達式が行われました。



★全国市議会議長会

《特別表彰》

○議員 25年以上 土居 篤男

★四国市議会議長会

《一般表彰》

○議員 8年以上 有沢 芳郎

議員総会で市長が辞意表明

ー市長選挙は8月6日にー

6月定例議会の会期中の6月19日、市長からの申し入れにより、本会議終了後に議員総会が開かれました。同会で市長から、今年3月からの健康上の問題を理由に、6月末日をもって退職したい旨の報告がありました。

市長の報告に対して出席議員からは、退職を惜しむ意見や、任期が2年余りあることから休養して復帰する案などの意見が出されましたが、市長は、今後の職務への影響などを考えて退職を決断したと説明しました。

市長の報告を受け、6月定例議会閉会日、市長の退職申し出が議題に追加され、全会一致で同意されました。

市長退職に伴う市長選挙は、7月30日告示、8月6日に投票予定で、次期市長就任までの市長不在期間は、吉川副市長が市長の職務代理を行うことになります。

(12ページに関連記事)

◆ 主な可決議案 ◆

(議決結果は15ページ)

議案第3号

消防ポンプ自動車購入契約の締結について
大湊分団前浜班の消防ポンプ自動車を購入するに当たり、見積競争の結果、有限会社四国消防機材が2507万7600円(消費税含む。)で落札したため、議会の議決を求めるものです。

議案第4号

災害対応特殊救急自動車(高度救命処置用資機材含む)購入契約の締結について
南国市消防署の災害対応特殊救急自動車(高度救命処置用資機材含む)を購入するに当たり、見積競争の結果、高知トヨタ自動車株式会社が3445万2000円(消費税含む。)で落札したため、議会の議決を求めるものです。

議案第5号

市道認定について
西山新田窪ヶ内線は開発により整備されたため、市道として認定するもので、野岸並光分線は、都市計画道路高知南国線の整備に当たり、道路整備事業に係る国の補助を得るため、市道として認定するものです。

議案第6号

市道南国117号線、王子大道線及び日章工業団地線の事業用地の取得について
(仮称)南国日章工業団地事業に係る市道南国117号線及び王子大道線の道路法線の変更並びに日章工業団地線の新設に当たり、当該市道事業に供する用地を取得するため、議会の議決を求めるものです。

◆ 第395回 臨時議会 ◆

(4月28日)

◆ 主な可決議案 ◆

(議決結果は15ページ)

議案第1号

税条例の一部を改正する条例
控除対象配偶者の定義が変更されたことに伴う規定の整備及び軽自動車税のグリーン化特例の適用期限を延長するものです。

議案第2号

国民健康保険税条例の一部を改正する条例
減額措置に係る軽減判定所得の算定方法を変更するものです。

執行部に問う

一般質問

6月議会では、農業・福祉・観光・教育など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約してご紹介します。

◇6月議会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

1 高木正平 ①津波対策 (「被災地の証言」に学ぶ・市営

住宅、児童館等の改築について・津波浸水予測地一帯の地籍調査の早期実施について) ②南国市の「日本一」(日本一による活性化について・魅力ある地域づくり・ふるさとを担う人材育成)

2 村田敦子 ①公共交通の充実 ②生活実態及びニーズ調査は無記名で ③2カ所目の地域包括支援センター ④太陽光発電設置補助事業 ⑤西部保育所の大規模改修急げ (駐車場確保、送迎時混雑解消)

3 前田学浩 ①加工品づくりの検証 ②総務省国勢調査統計ダッシュボード、産業・雇用創造チャートにより「南国市の雇用力と稼ぐ力を持った産業を見つけ出す」方法

4 土居篤男 ①国保制度県単一化について ②教育行政について

5 今西忠良 ①公共交通 (とさでん交通、地域公共交通網形成計画) ②防災 (シェイクアウト訓練、防災士連絡会、実践的防災教育推進事業) ③子どもの貧困対策 ④インクルーシブ教育 ⑤通学路の安全対策

6 小笠原治幸 ①農業施策 (1)農業に関する法律 (2)農業体験 (3)所有者不明の土地 ②南国市の問題 (1)市有山林切土訴訟 (2)庁舎内の土地開発機構 (3)西島園芸団地 ③南国市のおみやげ

7 山中良成 ①教育行政 (1)スクールゾーン設置 (大篠小・

伊達野地区) (2)子供の貧困率 (本市独自アンケート作成) (3)小中学校の不審者侵入予防策 (開閉できない校門の改善) ④商工観光 (第4回ごめん祭)

8 土居恒夫 ①安全・安心のまちづくりについて (特殊詐欺対策・防犯カメラ補助・自動制御安全自動車の補助) ②文化・芸術について (文化ホール・物部川国際芸術祭を・図書館雑誌に企業ブックカバー)

9 中山研心 ①緑ヶ丘切土問題 ②本人通知制度の改善
10 浜田勉 ①減反政策は日米安保条約により占領者として押しつけ、パン食への布陣が敷かれた ②民具は庶民の暮らしの歴史 ③海岸線の仮設道路の市道化は ④ほ場整備は農地の活用策、食と環境の命綱

11 浜田和子 ①市民負担の軽減について (ゴミ袋代の値下げ) ②市民サービスについて (はり・きゅう・マッサージ等施術費の助成、手話通訳者の活用、病時病後時保育) ③まちづくりについて (区画整理等)

12 岩松永治 ①保育・小中学校のプールについて ②中学校給食 ③子どもの医療費助成について ④公用車について
13 神崎隆代 ①就学援助における「ランドセル等新入学児童生徒学用品費」の入学前支給について ②奨学金の拡充 (給付型奨学金・無利子奨学金、南国市の貸与奨学金) ③アレルギー対応 (中学校給食センター)

14 福田佐和子 ①中学校での重大事態に対する市と教育委員会への対応について (遺族の手紙、他市の教訓、納得できない報告書、3月議会での間違い発言、市長部局の対策室) ②住まいの整備 (市営住宅等)

高木正平 議員



南国市の「日本一」

問 味わいや伝統・文化、貴重な財産、魅力あふれる数々の資本を活用した「日本一」。「オナガドリ」の保護や増殖研究と観覧もできる施設を望むが、実施計画を問う。海洋堂進出の期待は大きく、海洋堂の「ものづくりの街」整備による観光振興について問う。

答 オナガドリの研究施設の整備については、飼育者との距離、近隣者への配慮、交通の利便性などを満たす地域の選定に苦慮しており、用地選定に至っていません。後世に伝えられる、地域にぎわいをもたらし施設の整備は急務であり、要件を考

慮しながら用地の検討を急ぎます。

海洋堂を核とした中心市街地活性化に向けて、本年度も海洋堂と連携し、教育機関や製造事業者、地域の造形家等の協力を得ながら商店街を回遊していただける取り組みを検討しています。取り組みを継続することが、ものづくりの街南国市の定着、また中心市街地への来客がふえることで地域の方々の意識が高まるなど、好循環につながるものと考えています。

津波対策

問 東日本大震災の恐怖の体験から「津波の恐ろしさを知ってほしい」など様々な証言があり、南海トラフ地震への警告として、壮絶な体験を知り防災につながる機会の実現を問う。被災地の生活再建の基盤づくりは正確な

境界復元であり、地籍調査の実施計画を問う。

答 東日本大震災を実際に経験し、乗り越えてきた方の声を直接聞くことは、本市の津波対策として防災意識の向上への取り組みにつながるものですので、前向きに検討し、実現したいと考えています。津波浸水想定区域の地籍調査について、今年度は十市大小浜地区、来年度は十市札幌地区を調査する予定です。28年度までに久枝、下島地区、合わせて1平方キロ、区域の約2割程度の現地調査が完了していますが、津波浸水想定区域内で調査が未実施の地区に対しては、今後も順次、地元説明会の開催やパンフレットの配布等により、さらなる啓発を図っていきます。

村田敦子 議員



市内公共交通の充足

問 岡山県総社市では市内を4エリアに分け、自宅から中心エリアの目的場所まで、5人乗りの車9台を1時間毎に運行し送迎している。1週間前から1時間前まで予約可能で、免許証を返納しても以前と変わらず外出できている。市も乗り合いタクシー・3路線バスを整理し実行を。

答 本年度、地域公共交通網形成計画の策定に向けた基礎調査を行うべく準備を進めています。あわせて、交通事業者や道路管理者などで構成される南国市地域公共交通会議で協議し、計画策定の議論の中で、コミュニティ

バスやデマンド交通を含む交通体系の見直しを視野に入れ、高齢者に優しく、また高齢者の外出支援という観点からも本市の特性に応じた交通体系を検討します。



地域包括支援センター

問 来年4月より施行される改正介護法では、認定率の低下・給付費の抑制の成果をあげた市町村を財産支援する。包括支援センターは介護予防に重点を置き、介護卒業で自立を進める組織だ。北部にも開

設予定だが、自立強制でなく高齢者の状況に応じた支援を指導せよ。

答 介護予防ケアマネジメントとして、要支援の方のケアプランは、病状などを十分に把握した上で包括支援センターが作成しています。新規の方の要支援と要介護1のケアプランについては、地域ケア会議においてサービス事業者、ケアマネジャーにも参加していただき、理学療法士や薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士などの専門職によるアドバイスをいただきながら、要支援から回復できるよう、また要介護状態にならないように自立への支援、取り組みを行っています。介護や支援が必要な方に対しては、状態に合ったサービスが適切に受けられるようにケアプランを作成しています。

前田学浩 議員



加工品づくりの検証

問 なんこく空の駅推進協議会は8年間活動しているが、市としての事業評価は。これまで、どのような指導・連携をとってきたか。

また、厚生労働省の雇用促進事業を2期・6年間実施しているが、その評価を端的に何う。

答 なんこく空の駅推進協議会の取り組みの成果として、なんこくまほらでの商品販売、商談会を通じ販売ルートを開拓し、特産品のPRと市の魅力発信ができたと考えています。経営面では行政支援が必要な状態が続いており、自立に向けた経営の見直しが先決で、現在、商工会による経営

診断、経営指導を実施しています。

南国市地域雇用創出推進協議会の活動について、1期目は、就労促進、遊休農地の活用、農産物の試験栽培・販路開拓、地域資源を活用した商品化のコーディネートを実施。2期目は、雇用拡大、人材育成、就職促進を目的としたセミナー等を開催し、3年間で約百人の雇用、就職につながり、その一端を担う役割を果たしました。

雇用創造チャート

問 総務省が5月中旬に公表した「統計ダッシュボード産業・雇用創造チャート」により、市の雇用力と稼ぐ力を持つた産業を見つけ出すことができる。市の製造業には稼ぐ力があり、まだまだ雇用が見込まれる。第1次産業並みの支援を。

答 国からは、ビッグ

データを活用した地域分析システムRESASもインターネット上に公開されており、こうした統計データもうまく活用し、市の強み、弱みを的確に把握した上で、効果的な施策の展開ができるように努めます。

市としても、人口減少に歯止めをかけ、地域活性化を図るための目標の一つに、安定した雇用の創出を上げて取り組んでおり、新しい企業団地の整備や、製造業を中心とした新設企業に対し、起業奨励金による固定資産税分の支援や緑地整備雇用促進に対する支援を行うなど、雇用の創出に向けた取り組みを引き続き実施していきます。

土居篤男 議員



国保県一化で税はどうなる

問 安倍政権のもとで社会保障予算の「自然増削減」が求められ、地方の医療費削減・病院の病床減らしを迫り、地域医療構想策定が義務づけられた。国保税は県より地方自治体に納付金が求められる。国保被保険者の税が上がるのではないか。

答 県が納付金を決定し、市町村が納める金額については、現在、高知県で国から示された国民健康保険における納付金及び標準保険料率の算定方法により、医療費実績や所得水準をどう負担金に反映するかなど、納付金の試算をしています。本市

の国保税額については、算定方法、納付金が表示された後、これまでと同様、南国市国保運営協議会で審議、意見をいただきながら決定していきます。

教育行政について

問 銃剣道が中学校の武道で必修となったが、明治以降戦争とともに歩んできたもので歴史的に古来の武道とは言えない。また、教育勅語の活用が是とされたが、勅語は現憲法下での教育にはそぐわない。銃剣道や教育勅語を教育現場に取り入れるか。

答 本市の武道の授業は、学校ごとで教育計画を定め、指導者のもとと内容を決定していますが、現在、選択の武道は、柔道、相撲、剣道となっています。現行の教育基本法に対する基本的な考えについては、これまでの議会でも答弁していま

すが、戦前の皇国思想、儒教思想に基づいた教育勅語を否定し、新しい教育理念を宣言したのが教育基本法です。日本国憲法に示された理想の実現は、基本的に教育の力によること、個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期することとが述べられています。憲法と教育基本法のもとで戦後の日本は大きく成長し、世界有数の民主国家となることができましたと認識しており、この考えは現在でも変わっていません。



今西忠良 議員



通学路の安全対策
市道の拡幅工事

問 北陵中学校と久礼田小学校の通学路となっている、オフイスパークセンター北側の市道120号線の一部拡幅工事と安全確保の諸対策について、地元の各部落とPTA会長より提出された要望書に沿った改善施策の進捗状況を問う。

答 久礼田小学校PTA、北陵中学校PTA及び周辺の領石部落、久礼田、植田、植野の各自治会より要望をいただいた市道南国120号線の危険箇所の拡幅要望については、現在、支障電柱の移転を8月中の完了を目指して手続中であり、その

後、拡幅工事の発注をし、12月中の完成を目指しています。

厳しい環境にある
子どもの貧困対策

問 社会格差と貧困社会の進む中、保護者の厳しい暮らしは、子どもたちの学習権までも踏みじろうとしている。南国市における子どもの貧困の現状と認識は。そしてその影響と学習支援などの諸対策について問う。

答 市の小中学校における準要保護、要保護の割合はともに増加しており、今後も厳しい家庭環境に置かれる児童生徒がふえると予想されます。市としては、学習機会の確保や、学習支援の強化を図ることと、家庭の経済状況の厳しさや貧困の世代間連鎖を断ち切っていないか、今後とも考えています。学習機会の確保や学習支援の強化

として、放課後子ども教室、全小中学校に放課後等学習支援員を配置しました。

次に、保護者や児童生徒の悩みへの対応として、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置しています。また、親育ち・特別支援保育コーナー・デイネーターを配置し、関係機関と連携しながら、特別な支援を必要とする子供に対し、一人一人の特性や成長に応じた適切な指導や支援などとしています。さらに、学校支援地域本部があり、地域と学校をつなぐコーナー・デイネーターが中心となっており、地域住民や豊富な社会経験を持つ外部人材の協力を得て、さまざまな支援活動を行っています。

小笠原治幸 議員



農業に関する法律

問 農水省の改正農村地域工業等導入促進法、経済産業省の地域未来投資促進法が成立。この法律により企業用地として農地を転用しやすくなる一方、農業振興すると定めた農業用地区域や第一種農地も対象となる。南国市での転用開発について慎重な対応を求める。

答 国は安易な一種農地の転用を防ぐことを目的として基本方針を定め、それを踏まえて市町村は土地利用調整計画をつくらなければならぬとしています。その計画は、本市のあるべき方向を十分踏まえた適正なものでなければならず、その計画

作成の際には、農業振興地域の整備に関する法律、農振法の農業振興地域制度、農業委員会が農地法の農地転用許可制度を遵守することにより、守るべき農地を守るという姿勢で臨んでいきます。



利用した。切土の北側は絶壁で危険である。津波避難場所の整備は必要だったか。

答 訴訟の費用については、総務一般管理費の中に訴訟事務委託料として当初予算で計上しています。

津波避難場所の必要性については、想定を超える津波が発生した場合、当該山林は避難場所として適していると思われるということ、それと業者の出してきた計画は、ふだんは遊歩道として利用でき、緊急時には避難場所として活用できる内容であること、この内容を市の負担なしで整備できるのであれば、願ってもないことだと市長が判断し、工事許可を出したものです。

市有山林切土訴訟

問 緑ヶ丘3丁目の市有山林の切土問題はどうとう裁判にまで発展。裁判での弁護士、関係者の出向にかかる費用について問う。また、住民に十分な説明もなく、建設会社が山土を

山中良成 議員



スクールゾーン施工

識を持って、安全に行動できる児童の育成を地域や保護者と一緒に行うもので、すぐ取りかかることから取り組んでいます。

問 昨年12月議会で、大篠小へゾーン30の提案および特認校の送迎バスの停留所である伊達野地区にスクールゾーンを認定し、道路へのペイントや速度制限等を提案してきた。事故数も多く早期の改善を保護者は求めている。進捗状況およびこれらの計画を聞く。

答 ゾーン30の担当は南国署になりますが、これまでの例では、2年から3年かかっているため、他方で交通安全教育を推進し、啓発するために、大篠小は今年度、県の安全教育推進事業を受けることにしました。これは交通安全に対する規範意

めていない現状について改善策を問う。

答 外部者が学校へ入る際は名札を着用してもらったり、校内で見知らぬ人を見かけた場合には、教職員から声をかけるなどの対応をすることになってい

不審者侵入予防策
それまでは、警察の巡回パトロールによって対応しています。また、保護者と話し合い、今の段階でやれる対応を行っているところ

問 昨年度の不審者情報は25件である。学校側は不審者が侵入した場合に対処すべきであるが、それ以前に不審者が侵入しない事前の対策が必要だ。不審者侵入防止策について問う。また、ほとんどの各小中学校の校門は閉

す。不審に感じた場合は、職員室へ通報したり、複数の教職員で対応するなど、児童生徒の安全確保をするようにしています。

現在ほとんどの学校で日中は門扉を閉めていない、門が幾つかある場合に一部だけ閉めている理由として、門扉の開閉が容易でなく、おくれてくる児童生徒や来校者への対応がすぐにできない、地域住民が通行する道で閉じることができないなどが挙げられます。玄関の開閉については、早速学校に周知をしたいと考えています。

土居恒夫 議員



ワクワクする文化ホールの整備

問 文化施設の早期整備の陳情書が提出された。市民待望の文化ホール等がいよいよ実現に向かい歩み出してきた兆し。大篠公民館、中央公民館の建替えが切迫している。この機

にCLT^{*}や話題性・魅力のあるワクワクする文化施設の早期整備を。※CLT：繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料。断熱性や強度も高く、鉄筋コンクリートに比べ工期短縮のメリットがある。

答 長きにわたって多くの市民が待ち望んできた文化的施設を仕上げるという決断しまし

た。

いろんな多方面から意見を聞いて、それが大きく膨らんでいくのは、結構なことかも知りませんが、勘定したら50億円も60億円もかかって手が出ず、やめるということはないように、身の丈に合ったものを確実につくり上げていくつもりです。ので、建設的な話を皆さんにいただきたいと思っています。

自動制御安全自動車購入時に補助を

問 65歳以上の高齢ドライバーの事故が多発。ブレーキとアクセルの踏み間違い事故が約6%で、政府も高齢ドライバーの事故対策は「^{*}焦眉の急」と指摘している。事故防止のため、65歳以上の方に自動ブレーキ等の搭載車購入時の補助を。

※焦眉の急：非常に差し迫った危険、問題を

抱えていることのたとえ。眉毛が焦げるほど火が迫り、きわめて危険な状態である意味から。

答 自動制御自動車の購入に対する補助制度の創設については、近い将来衝突被害軽減ブレーキなどの装着が義務化の方向にあると思われ、国による制度設計が望ましいのではないかと考えます。衝突被害軽減ブレーキなどの安全装置が標準装備となるよう、また補助制度、税制特例など、国に対して要望していきたいと思

中山研心 議員



緑ヶ丘団地北切土問題

問 市長、副市長がこの土地が高知市産業団地予定地であることを知ったのはいつか。危機管理課など市長以外に推進立場で発言する職員はいたのか。行政情報の共有がされておらず誰もトップの誤りを指摘しない。意思決定機関が形骸化しているのでは。

答 高知市側の土地について今日に至るまで業者からも高知市からも産業団地予定地であるという話は聞いたこともなく、そのような認識はしていませんでした。

市長以外に推進の立場で発言をした記録が残っているかという件

については、市長以外の者で許可を推進する発言をした記録は確認できませんでした。



本人通知制度の改善

問 本人通知制度の改善リスト方式での作業量の枠内に収まるように登録者数を抑制したい、というのは本末転倒だ。期間適用の撤廃を。交付申請者名を交付通知に記載できない理由は。

答 南国市住民票の写し等の交付に係る本人通知制度に関する要綱に規定をされた事前登録の適用期間について

は、現在適用期間の撤廃に向けて要綱の見直しを検討しており、今議会後直ちに改正に向けた手続を行ってまいりたいと思います。

住民票の写し等の交付申請書の情報を交付通知に記載する点ですが、交付申請者の個人情報を一律に本人以外の方に開示することは南国市個人情報保護条例に照らして慎重な判断が求められます。具体例で、相続関係で住民票、戸籍関係を請求した場合に、同じ戸籍に親または祖父等があれば、付随して交付されることもあります。そういった場合に、その請求した方の相続権の行使について請求した部分が、個人その第三者の正統な利益を侵すおそれがあると解釈しています。

浜田 勉 議員



米価は政府責任

問 今年の米価は30キロが3千円〜6千円と言われている。MA米やSB米は日本の独立主権を妨害し、瑞穂の国を標榜しつつ、アメリカの余剰農産物を受け入れる、日本政府は日本農業、農民への裏切りでは。日米安保条約が教えているが。

答 二毛作助成、反当1万5千円、耕畜連携、反当1万3千円については、二重助成であるという国の方針が示され、29年度から廃止の予定です。これにより30年度に向けて飼料米をさらに促進することになっていきます。SB米の調整金という不透明な取引による安価

な輸入米の流通、そして発覚後に調整金廃止の措置をとった入札結果はアメリカ、オーストラリア、中国など、いずれも過去最低水準の価格での取引となっており、輸入米流通への不信任は拭い切れない状況です。そのような状況の中、本年度が米の直接支払交付金の最終年度で、今後の需要に応じた米生産につなげるために水田活用を支払交付金を最大限に活用して、需給調整を図らなければなりません。

ほ場整備の喫緊性

問 今、20組織は本年11月に同意者90%に向けて未来をかけた取り組みを進めている。農地の荒廃は人心を傷め、荒野となつたくらしの環境は、行政の存在性、農業者の資質をも問うものとなる。ほ場整備が南国市の未来建設の

土台となるが。

答 本年10月末時点で90%以上の賛同が得られた状態にするため、各地区のほ場整備委員会には3月、6月、9月までの同意取得目標を設定し、同意率を上げるスケジュール案を提示して、多くの同意取得を目指しています。農林水産課としても、昨年度から2班体制の対応と、本年度も1名の増員により事業推進体制を強化し、地元組織と連絡を密にしてサポートしていくようにしています。

将来の現実味を帯びた農地の未来図の提示と地元負担率の軽減策をあわせて説明しながら同意取得を進め、事業着工まで持つていかなければならぬと考えています。

浜田和子 議員



ゴミ袋代の値下げ

問 国保の値上がり、ビールやハガキ代、宅配便など生活必需品の値上がり等もあり、市民生活は圧迫されている。市民負担の軽減が望まれる。ゴミ袋代は、香美市が小150円中200円大250円に對し、南国市は小250円中350円大450円で他市より高い。値下げするべきではないか。

答 家庭用、事業用のごみの処分に1億2千700万円ぐらい、今回香南清掃組合を改築し毎年1億3千万円ぐらいの負担になります。それにプラスして、文化施設の建築も迫っているとということで、来

年に向けていろんな要素を考えながら対応していきたいと思っています。来年度予算に向けて何らかの答えを出したいと思っています。

まちづくり

問 駅前線の事業に合わせて周辺の区画整理を行うべきだ。災害時を想定すればその必要性は大きい。また、南国市の活性化を図るため、市も商工会も民間企業等も一体で取り組むべきだ。第二次産業の活性化も重要だ。稲生の石灰を利用したまちづくりを提案する。

答 区画整理、まちづくりを市が独自でやっている条件は一定整ったと思っています。まず篠原地区でやり上げることに市によって区画整理の第一歩が始まると思っています。現在中心市街地では中心市街地活性化推進協議会で後免町将来像

プランを作成し、活性化に向け、ものづくりを身近に感じてもらう取り組みや、学校、企業、関係団体などの協力により、商店街への人の流れをつくるイベントなどを実施していきます。こうした取り組みの継続で今後より多くの方々に活性化の取り組みに参加、協力していただきたいと考えています。

稲生の石灰を利用したまちづくりについて、市の産物を生かしたおもしろいアイデアだと思っています。地域活性化の取り組みを進める中で、こういったアイデアをたくさん出していただくために多くの方に意識を持って参加していただくことが必要だと思います。

岩松永治 議員



公用車の無料貸し出しについて

問 公用車を有効利用するために、公用車の一部を市民に無料で貸し出すことができないか。また、公用車を運転する機会が多い職員の運転免許証の有無についてどのように管理しているのかを問う。

答 日ごろから乗りなれない車両の運転になりますので、市民への貸し出しは、事故などを想定して十分検討する必要があります。対象となる車両も多く保有しておりませんので、現在のところ貸し出しは考えておりません。消防本部では4月に全職員の免許証のコピーを徴収しており、半

年後の10月に各所属長により免許証の確認をしています。

(消防以外) 職員の採用条件に運転免許証の資格を問うていませんので運転免許証を持っていない職員もいます。今現在更新日も含めて把握しておりませんが、消防長の答弁にあったように年度初め及び10月という形で各所属長が把握するように努めたいと思います。

中学校給食

問 間もなく南国市でも中学校給食が始まる予定である。運用開始が近づいてきたこともあってか、保護者の関心も一層高くなり、いろいろな問い合わせもいただいている。運用開始日及び開始までの今後の予定を問う。

答 現在の進捗状況は、建設、電気工事の竣工検査を7月中旬に行う

予定です。厨房機器を含む機械設備工事は7月末までの工期となっています。

現在募集をかけている調理等業務委託業者との委託契約を結び、委託開始日は11月初旬を予定しています。その後、試行業務を経て、12月1日より完全実施ができるよう諸準備を進めています。

学校側の準備としては、保管室整備の設計委託を現在行っており、7月から9月にかけて工事を行うこととしています。また、円滑なスタートが切れるよう配送計画や給食費の徴収方法、給食の準備から後片づけまでの流れについて、学校長や養護教諭、事務職員等との打ち合わせを継続的に進めたいと思います。

神崎隆代 議員



新入学児童生徒学用品費入学前支給

問 準要保護児童生徒に対する新入学時の学用品費の支給はこれまで入学後となっていた。一番必要な時期に適切な支援・援助があることが望ましい。平成30年度新入学学生から入学前支給をするには、今から準備をすれば対応できると思うが可能か。

答 就学援助の入学前支給については、国の制度改正もあり、今年度末から支給が行えるよう現在調整を行っています。平成30年度入学者がこの制度を利用できるような作業を進めていきます。

周知の方法ですが、例年小学新入生に対し

て、入学通知書とともに10月初旬に、中学校への新入生については、1月中旬に各家庭に郵送しています。また、在校生については毎年1月に学校を通じて全家庭に配付しています。そのほか、就学前の健診時には、学校から、また市の広報、ホームページで周知を行っています。さらに、学校からもPTAや学校だより等を利用して広報活動に努めるよう校長会等で依頼しています。

奨学金制度の周知と貸与の時期

問 このたびの給付型奨学金の創設、無利子奨学金等の返還時の制度拡充に係る周知について問う。また、南国市の貸与奨学金において最初の支給が6月となっているが、合格通知が届いた時点での申請とすれば4月貸与が可能となるかを問う。

答 平成30年度の入学生から給付型奨学金の本格実施に伴い、早い時期から周知することにより、進学意欲や学習意欲を促すことができると思いますので、中学校における進路指導やキャリア教育等の場面で、奨学金についても学習できる場を設定するよう、校長会等を通じて教員への周知を進めます。

南国市奨学金貸与の年間当初予算額に達していない状況が続いています。貸与時期が原因であれば、保護者への聞き取り、他の奨学金制度の貸与時期などを比較して、関連規定の改正について検討していきます。

貸与時期が早くなるということは、申請時期も早くなりますが、特に障害となるようなことがなければ、早める方向で考えています。

福田佐和子 議員



「公表」を「判定」とした教育長答弁は

問 間違い発言は議会だよりで既に全戸配布。議会は法と事実で発言し、特に教育長答弁は重い。「間違いだった、謝罪する」で済むのか。任命権者の市長と教育長の見解を聞く。また、提案していた大津市の市長部局での取り組みを調査検討したのか。

答 (市長) 間違った言葉を使ったことについては、御遺族を初め関係者に大変な誤解を招いたということ、教育長を選んだ私の責任でもあると痛感し、おわびしたいと思っています。

(教育長) いじめ事案を文科省が独自で判

断するという認識は全くもっていませんでした。また、言い間違えに全く気づかず、後日議会だよりを見て初めて気がついた次第です。改めて議員の皆様、お父さん、お母さん、御遺族を含む市民の皆様、心からおわびを申し上げます。

大津市独自の取り組みは承知しています。南国市としては、市のいじめ防止基本方針に基づいて取り組みを進めており、市の部局も県の機関も入って情報共有しながら進めている形をとっていますので、新たに新しい部署を設置するまでは必要ないと今のところ考えています。

人口増目指す住まいの整備を

問 定住人口を増やすと同時に市内業者の仕事を増やし地域経済を豊かにする効果がある。

空きのある市営住宅の改修、改築で早急に市民に提供を。安心安全のまちづくりを目指すなら耐震リフォームへの補助金を増やすなどすべきでは。

答 空き住宅については、傷みぐあい等調査し、予算の範囲内でリフォーム費用が安価と思われる住宅から計画的に、できるだけ多くリフォームを実施し、順次年3回の公募に充てたいと考えています。

住宅耐震工事の補助金は、現在市内事業者の施工に限り10万円の上乗せ、耐震設計に対する補助金を12万円上乗せしています。一方、住宅の耐震改修について、平成31年度から国の補助がこれまでのように受けられなくなると予想されることから、現状以上の上乗せは、今後国、県の動向を注視しながら検討したいと考えています。

6月議会 トピックス

◆文化会館

6月議会で、総合文化施設（仮称）の早期整備についての陳情が採択され、一般質問でも施設整備を決断した市長答弁がありました。これにより、長く待ち望まれている文化施設整備の取り組みが進むことになりそうです。

◆議会改革

定例議会の一般質問の方式について議会運営委員会が協議され、今までの総括方式（質問・答弁3回まで）に加え、一問一答方式（回数制限なし）を取

り入れ、今年9月定例議会から開始予定となりました。また、議会中継についても、放送設備の準備も含めて検討しています。

◆市長退職

市長の退職申し出が6月22日に議会でも同意され、退職する6月30日には退任式が行われました。（3ページに関連記事）



～市長挨拶～

このたび、健康上の理由から、6月30日をもって市長の職を退任させていただきました。在任中は、議員各位をはじめ、市民の皆様

力により着実に市政を進めることができ、心から感謝申し上げます。平成19年12月に市長に就任させていただき、市民の「安全・安心のまちづくり」に全力で取り組んでまいりましたが、今般、健康管理に対する不徳から、任期途中の退任に至りましたことに心からおわび申し上げます。

これからは、新工業団地造成事業や街路事業、国営ほ場整備事業など、本市の基盤となる大型プロジェクトが動き始めます。新しい体制のもと、事業の進展に向けて一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、今後の南国市のさらなる発展と市民の皆様のご健康とご多幸をご祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

▼3月定例議会での答弁

教育長が発言訂正・陳謝▲

（6月議会一般質問初日）

第394回3月定例議会の一般質問におきまして、前田学浩議員さんからの3問目の答弁の中で、言い間違いがありましたのでおわびを申し上げ、訂正をさせていただきます。

答弁の中で、「文科省が公表している」と言わなければならないところを、「文科省が判定した」という間違いがあったため、あたかも文科省がいじめかどうかを主體的に判断しているように受けとめられる答弁になってしまいました。

この件につきましては、議員の皆様、市民の皆様への情報提供の大切なものであり、細心の注意を払って答えしてきたつもりでしたが、今回このような失態を招き、多くの皆様に御迷惑をおかけしたことを深くおわび申し上げます。

二度とこのようなことがないよう、いま一度襟を正し、よりよい教育行政の進展に邁進してまいります。

常任委員会行政視察レポート

総務常任委員会 (5/15~17)

岡山県総社市・島根県江津市・益田市

総社市では、希望する場所から場所へ1人1乗車300円で送迎する予約型で乗合方式のデマンド交通「雪舟くん」を運行しており、買い物や通院などの外出で、市民の身近な交通手段として定着しています。

江津市では、ビジネスプランコンテスト「Go-Con」を開催し若者の創業支援に力を入れており、才能ある若者が次々に開業するなど、成果が実を結びつつあります。

益田市では、若者の定住、UIターンによる定住促進に力を入れており、空き家バンクの活用や地域おこし協力隊員の就業支援などを通じて定住者の増に努めています。まずは魅力ある地域づくりが大切だと感じました。



産業建設常任委員会 (5/16~18)

石川県野々市市・滋賀県長浜市・守山市



野々市市は、土地区画整理事業によって57.1%の市街化区域があり、金沢工業大学の発展と並行する研究学園都市として、同市にある3つの大学と公民連携で街づくりを進めています。

長浜市では、市、商工会議所、民間企業などが出資する複数の株式会社の取り組みが特徴的で、関係組織がしっかりと連携協力しながら、町並み再生、空き店舗活用、賑わい創出などに取り組み、年間200万人もの観光客を呼ぶことに成功しています。

関西圏のベッドタウンである守山市は、中心市街地活性化に関わる複数の組織を立ち上げ、国の補助金等を活用しつつ、行政がリードし民間が続くかたちで賑わいを創出し、少子高齢社会を見据えた居住者のためのまちづくりに取り組んでいました。

教育民生常任委員会 (5/23~25)

富山県富山市・射水市・石川県加賀市

富山市は、高齢者も障害者も子どもも一緒に身近な地域でデイサービスを受けられる「富山型デイサービス」を実施。「誰も排除しない」民間デイサービスは、縦割り行政を超えた補助金を実現し、県内121箇所、全国1,495箇所へと拡大しています。

射水市は「子育てするなら射水市で」と、元市役所庁舎を子育て支援センターに改修し、赤ちゃんから子どもの権利擁護まできめ細やかなプログラムで子育て支援をしています。

加賀市は、予防、医療、介護、生活支援、住まいにおいて、本人の思いに応え、その人らしく暮らしていけるよう「お達者プラン」を策定しています。視察した3市とも、老後も子育ても要を行政が責任を持ち市民要望に応えていました。



議 会 日 誌

4月	10日・市政連絡会
	12日・高知県市議会議長会定期総会 (高知市)
	13日・市議会だより編集委員会
	26日・四国市議会議長会定期総会 (高松市)
	28日・第395回市議会臨時会
5月	8日・市政連絡会
	15～17日・総務常任委員会行政視察 (岡山県総社市・島根県江津市・益田市)
	16～18日・産業建設常任委員会行政視察 (石川県野々市市・滋賀県長浜市・守山市)
	23～25日・教育民生常任委員会行政視察 (富山県富山市・射水市・石川県加賀市)
	24日・全国市議会議長会定期総会 (東京)
	26日・全国民間空港所在都市議会協議会 (東京)
	27日・岩沼市植樹祭
6月	5日・市政連絡会
	8日・議会運営委員会
	9～22日・第396回市議会定例会
	9日・市議会だより編集委員会
	22日・市議会だより編集委員会

行政視察受入状況

【H29.4月～6月】



自治体名・人数 (会派名等／視察内容)

5月10日 秋田県能代市・5名
(希望／還元野菜プロジェクト)
19日 栃木県大田原市・6名
(建設産業常任委員会／地産地消)

九州北部豪雨

7月の九州北部の豪雨災害では、福岡県、大分県で甚大な被害が発生しました。
被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

南国市議会

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対 一議長(議長は賛否に加わりません) 欠…欠席

議員名 議案番号	神崎隆代	植田豊	浜田憲雄	山中良成	岩松永治	西川潔	土居恒夫	高木正平	有沢芳郎	中山研心	前田学浩	村田敦子	岡崎純男	小笠原治幸	野村新作	浜田和子	浜田勉	土居篤男	福田佐和子	西岡照夫	今西忠良	結果
議発第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	—	×	可決
議発第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	可決
議発第9号	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	可決
議発第10号	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	—	○	否決
議発第11号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	—	○	否決
議発第12号	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	—	○	否決

暑中お見舞い申し上げます

市民の皆様の御健勝を

お祈りいたします。

平成29年 盛夏 南国市議会議員一同



議 決 結 果 一 覧 (4月臨時会・6月定例会)

■ 4 月臨時会 (4/28)

◆ 議 案

- 1 号・税条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
2 号・国民健康保険税条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
3 号・損害賠償の額を定めることについて……………全会一致で可決

◆ 報 告

- 1 号・平成18年度一般会計補正予算の専決処分の承認について……………全会一致で承認
2 号・損害賠償の専決処分の報告について
3 号・損害賠償の専決処分の報告について
4 号・損害賠償の専決処分の報告について

■ 6 月定例会 (6/9～22)

◆ 議 案

- 1 号・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
2 号・職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
3 号・消防ポンプ自動車購入契約の締結について……………全会一致で可決
4 号・災害対応特殊救急自動車（高度救命処置用資機材含む）購入契約の締結について……………全会一致で可決
5 号・市道の認定について……………全会一致で可決
6 号・市道南国117号線、王子大道線及び日章工業団地線の事業用地の取得について……………全会一致で可決
7 号・上倉・瓶岩北辺地に係る総合整備計画の策定について……………全会一致で可決
8 号・固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について……………全会一致で同意

◆ 報 告

- 1 号・平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
2 号・平成28年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
3 号・平成28年度土地取得事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
4 号・平成28年度企業団地造成事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
5 号・平成28年度水道事業会計予算繰越計算書の報告について

◆ 陳 情

- 1 号・南国市立総合文化施設（仮称）の早期整備について……………全会一致で採択

◆ 議員提出議案

- 1 号・議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議（野村新作議員ほか12名）……………賛成多数で可決
2 号・農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書（土居篤男議員ほか19名）……………全会一致で可決
3 号・ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書（神崎隆代議員ほか19名）……………全会一致で可決
4 号・北朝鮮のミサイル発射に抗議し、国連決議の実行と外交努力を求める意見書
（浜田勉議員ほか19名）……………全会一致で可決
5 号・日本政府が核兵器禁止条約の交渉に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書
（福田佐和子議員ほか19名）……………全会一致で可決
6 号・ビキニ核被災事件について、日本政府に救済措置を求める意見書（浜田勉議員ほか19名）……………全会一致で可決
7 号・地方財政の充実・強化を求める意見書（中山研心議員ほか18名）……………全会一致で可決
8 号・持続可能な社会・世界を実現するために温暖化防止の施策の拡充を求める意見書
（土居篤男議員ほか18名）……………賛成多数で可決
9 号・給食費の無償化を求める意見書（村田敦子議員ほか16名）……………賛成多数で可決
10号・いわゆる「共謀罪」を新設する改正組織犯罪処罰法の廃止を求める意見書
（中山研心議員ほか6名）……………賛成少数で否決
11号・国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金制度の確立を求める意見書
（土居篤男議員ほか5名）……………賛成少数で否決
12号・森友・加計両学園をめぐる闇の策動を解明するよう求める意見書（浜田勉議員ほか5名）……………賛成少数で否決

◆ その他

- ・市長の退職申し出について……………全会一致で同意



エンコウ祭り

「エンコウ」とは河童によく似た妖怪です。主に後川流域で毎年6月第1土曜日に、水難除けを祈願する行事が行われています。

水泳シーズンの前に川を清掃して清めたあと、各地区の橋のもとにシヨウブの葉でお社をつくり、エンコウの好物であるキュウリやお酒などをお供えします。夕暮れ時から地区の人々がお社を訪れ、水難に遭わないようにお願いし、その後、子どもたちは花火を打ち上げて楽しく過ごします。

子どもの成長を見守る気持ちが込められ、大切な地域の伝統行事を継承するために地域ぐるみで取り組まれています。

なんこく歳時季

巻

3

編集後記

九州北部の豪雨災害では、自然の猛威の怖さを思い知らされました。何十年に一度とか、過去に記憶にないとかの言葉がたびたび聞かれるような異常気象が起きています。災害には常識は通用しません。普段から避難等について十分な確認が必要だと改めて思いました。

さて、議会だよりを刷新して今回が3号目となりました。先日、議会だよりの初号発行に携わった方から苦労話をお聞きし、改めて諸先輩方が議会の声を市民の皆様へ届ける「お便り」の大切さを実感いたしました。これからも「疑怪」をもたれない「議会」の有り様をしっかりと、分かりやすく理解していただけるように努めてまいります。

(土居)

◎市議会だより編集委員会

委員長 土居 恒夫
副委員長 福田 佐和子
委員 植田 隆代
〃 神崎 豊
〃 今西 忠良
〃 濱田 勉

◆『市議会だより』についてのご意見・ご要望がありましたらお寄せください。

「マチイロ」で 議会だよりを 配信しています

スマートフォンなどで使える自治体広報アプリ「マチイロ」で南国市議会だよりの配信を開始しました。全国450を超える自治体の広報等をいつでもどこでも無料でご覧になれます。

●アプリで読むには

App Store・Google Playから
「マチイロ」を検索し、ダウンロード



お住まいの地域など簡単な
設定をします。



最新の広報紙が配信されます。

- 6月定例会市議会の会議録は、9月上旬以降に市ホームページ (<http://www.city.nankoku.lg.jp>)、議会事務局のほか、市立図書館で閲覧できます。
- 次回の定例会市議会は9月8日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。